

経営比較分析表（平成29年度決算）

宮崎県五ヶ瀬町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
3,985	3,771	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

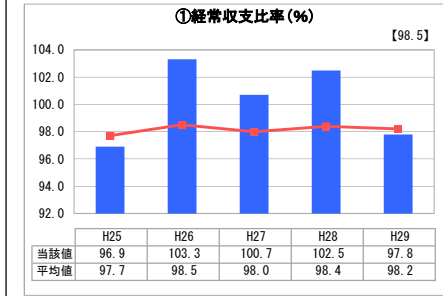
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
36	18	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	54
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
36	18	54

グラフ凡例

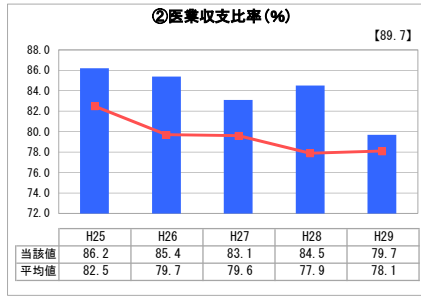
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成29年度全国平均

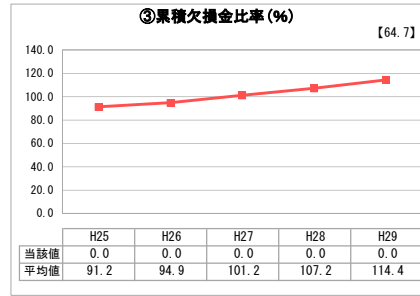
1. 経営の健全性・効率性



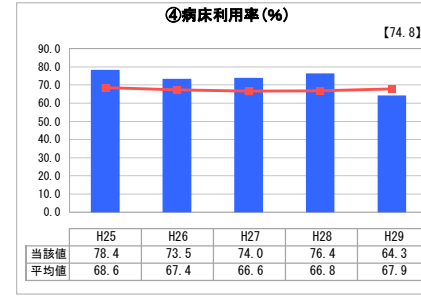
「経常損益」



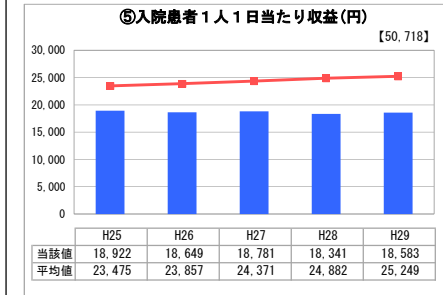
「医業損益」



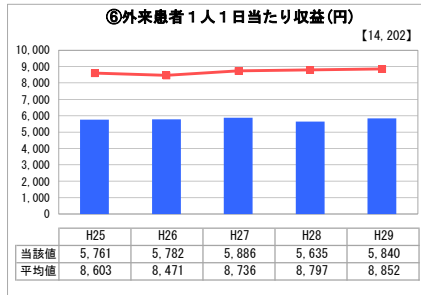
「累積欠損」



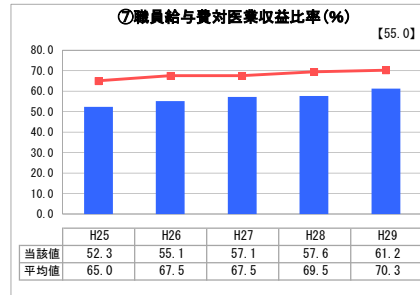
「施設の効率性」



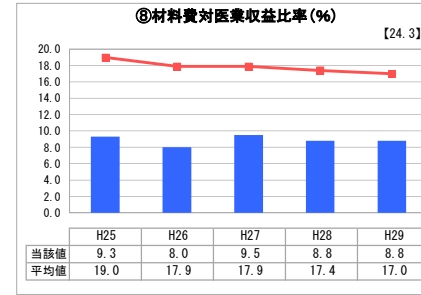
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

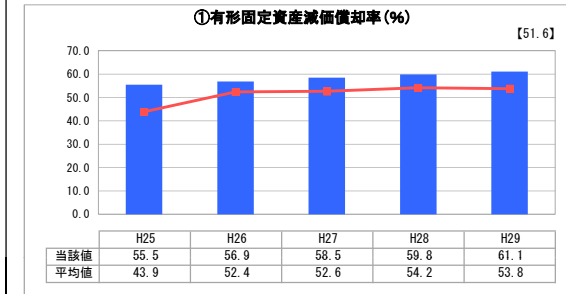


「費用の効率性①」

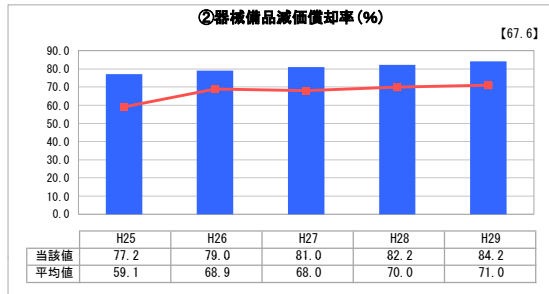


「費用の効率性②」

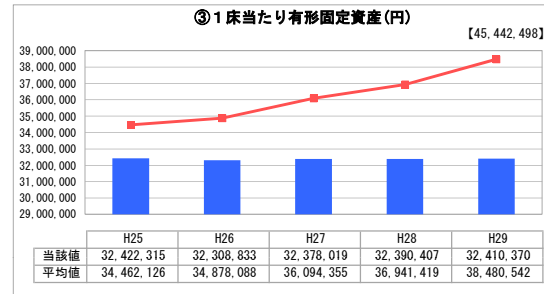
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は中山間地域のへき地にある五ヶ瀬町において唯一の病院であり、町民のかかりつけ病院として地域医療の根幹を担っており、一般病床36床、介護療養病床18床を有し、常勤医師2名で診療を行っている。一般医療の提供はもとより、訪問診療・訪問リハビリ、人間ドックや事業所健診、各種予防接種等も行っており、町民の健康維持・増進において大きな役割を担っている。また、近隣病院へは町の中心から車で10～15分程度かかることから、高齢者等の交通弱者にとってはなくてはならない病院である。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率はH25年度以来に100%を下回り、医業収支比率も類似病院平均値を上回っているものの、80%を下回っている。これは病床利用率が前年度及び類似病院平均値を下回っていることからわかるように入院収益の減少が影響している。また、入院・外来ともに1人1日当たり収益が類似病院平均値では微増であるところ、当院ではほぼ横ばいであることも関係していると考えられる。職員給与費対医業収益比率は、これまで臨時職員等を含めた最低限の職員数での運営を行ってきたものによるが、微増傾向にある。材料費対医業収益比率は、入院・外来患者1人1日当たり収益が横ばいの中で、やや減少傾向にあり、全国平均・類似病院平均値を大きく下回っていることから継続して材料費の軽減に努める。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに類似病院平均値・全国平均を上回っている。当院は平成10年11月に新築移転しており、約20年が経過し老朽化が進んでいる。器械備品についても平成10年当時に新規購入したものも多く、老朽化が進んでおり、更新時期を迎えていると考えられる。1床当たり有形固定資産については、類似病院平均値・全国平均を大きく下回っている。これは過大投資が少ないことであるが、施設・器械備品を耐用年数以上に使用しているためであると考えられる。しかしながら、医療器械は精密器械で患者の健康と生命に直結するため、今後は計画的に適正な更新が必要である。

全体総括

経営の健全性については、地方公営企業の場合、採算性が困難な不採算事業となるサービス事業等もあることから、一般会計からの繰入金により健全な状況を保っているものの、入院・外来ともに収益が低いことがうかがえた。町の将来的な人口減少を考えると入院患者の増加は厳しかったため、外来リハビリテーション部門で収益を上げられるような対策を早急に打ち出さなければならぬと考える。

また、施設・器械備品ともに前述しているように老朽化が進んでいる状況である。施設については年々修繕する箇所も増えてきているが、修繕や取替で対応できている。しかしながら、器械備品については精密医療器械であることから、順次更新することが必要で、計画的に進めていけるよう現状を把握しておくことも必要であると考えられる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。